

前立腺癌の薬物療法の有効性評価に関する検討

1. 研究の対象

前立腺がんと診断され、2000年以降に当科で薬物療法を受けている患者さん

2. 研究目的・方法

研究の目的

前立腺がんに対する薬物療法の使用実態、治療効果および安全性を調査し、前立腺がんに対する最適な治療方法を明らかにすることが目的です。

研究の方法

泌尿器科において前立腺がんと診断され、当科で薬物療法を受けておられる方で、診療録（カルテ）より以下の情報を取得します。薬物療法の使用実態、効果ならびに安全性と取得した情報の関連性について調べます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- 1) 患者情報：患者生年月、前立腺生検施行日、診断時血液生化学検査（PSA含む）及び尿検査、診断時 Gleason score、診断時病期
- 2) 薬剤投与前情報：根治的治療内容、初回内分泌療法開始日、去勢抵抗性前立腺癌の診断日、導入時血液生化学検査（PSA含む）及び尿検査、身長、体重、Performance status、内臓転移の有無、骨転移の有無、リンパ節転移の有無、脳転移の有無、前立腺原発巣の有無、合併症、疼痛・鎮痛薬使用の有無、質問票
- 3) 導入後情報：投与量、休薬・減量の有無およびその理由、血液生化学検査（PSA含む）及び尿検査推移、質問票、画像評価、転帰確認
- 4) 有害事象情報：有害事象共通用語規準に準拠して記載

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究責任者

京都中部総合医療センター泌尿器科 部長 金沢元洪

共同研究機関および研究責任者

京都府立医科大学 泌尿器科学教室 浮村 理
舞鶴医療センター泌尿器科 副院長 北森伴人
舞鶴共済病院泌尿器科 院長 布施春樹
綾部市立病院泌尿器科 部長 中西弘之
済生会京都府病院泌尿器科 前立腺センター長 北村浩二
愛生会山科病院泌尿器科 部長 大石正勝
市立福知山市民病院泌尿器科 医長 増田健人
宇治武田病院泌尿器科 部長 石田博万
京都山城総合医療センター泌尿器科 部長 上田崇
京都きづ川病院泌尿器科 部長 平原直樹
京都第一赤十字病院泌尿器科 部長 三神一哉
京都第二赤十字病院泌尿器科 部長 邵仁哲
京都民医連中央病院泌尿器科 科長 林一誠
京都鞍馬口医療センター泌尿器科 部長 野本剛史
京都岡本総合病院泌尿器科 部長 平岡健児
田辺中央病院泌尿器科 部長 朴英寿
西陣病院泌尿器科 副院長 今田直樹
堀川病院泌尿器科 部長 大西彰
洛和会丸太町病院泌尿器科 部長 兼光紀幸
明治国際医療大学附属病院泌尿器科 部長 高羽夏樹
桃仁会病院泌尿器科 院長 橋本哲也
松下記念病院泌尿器科 部長 落合厚
大阪府済生会吹田病院泌尿器科 副院長 藤戸章
近江八幡市立総合医療センター泌尿器科 院長 宮下浩明
長浜市立湖北病院泌尿器科 院長 納谷佳男
富士宮市立病院泌尿器科 部長 矢野公大

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター泌尿器科 部長 金沢元洪

-----以上